

2018年度運輸安全マネジメントに関する取り組み

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長及び役員は輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、安全の確保に資する現場の声を傾聴するなど、現業部門の状況を十分に踏まえ、「安全優先主義」の意識の浸透を図ることを全役職員に徹底してまいります。
- (2) 会社は輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し全役職員が一丸となって業務を遂行することにより、常に輸送の安全性の向上に努めてまいります。
- また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

- (1) 2018年度 **運転事故防止全社目標及びスローガン**

運転事故防止全社目標

- ・重大事故「ゼロ」
- ・有責事故 前年発生数の2件削減
- ・公私にわたる飲酒運転の根絶

スローガン

- ・交差点、車内事故の撲滅
(適切な運転操作と安全確認の徹底)
- ・予測、防衛運転の徹底(かもしれない運転の徹底)
- ・構内事故の撲滅(焦らず、慌てずの徹底)

公共交通機関としての使命を果たし、さらにお客様からの信頼を得るために上記目標の達成のため、全力で取り組んでまいります。

- (2) 2017年度**目標の達成状況**

	重大事故件数	
	目標	実績
2016年度	0 件	0 件
2017年度	0 件	0 件

	有責事故件数	
	目標	実績
2016年度	5 件	8 件
2017年度	5 件	5 件

和歌山バス那賀株式会社

取締役社長

井上慎治